

平成 29年度（28年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	元気を生み出すスポーツの振興		課(室)名	スポーツ振興課
	施策	スポーツの振興		電話番号	087-839-2626
	基本事業	市民スポーツ活動の推進		事業実施主体	市
	事務事業	学校体育施設開放事業		事業期間	平成 20年度～平成 27年度

【事業全体概要】

事業の概要	本事業は、昭和40年に子ども達に安全な遊び場を提供しようとの配慮から、休業中の校庭開放事業として始まり、昭和47年から一般市民を対象とするスポーツ・レクリエーションの振興を狙いとする学校開放事業として開始し、昭和50年には「高松市学校体育施設開放規則」を制定し、市内全小学校の体育施設を自主管理方式で無料開放している。一方、中学校については、昭和48年から夜間開放事業を開始し、地域性施設面積を動員して、現在、体育館10校、運動場5校の指定校方式で開放を行っている。平成14年度からは、受益者負担の原則に基づき、電気料の実費相当分を使用料として徴収している。		
29年度概要	地域、職場等のコミュニティ・スポーツの場として、小学校体育施設について全校区、中学校体育施設については15校の学校体育施設開放事業を促進し、スポーツ活動の振興に取り組む。また、中学校体育施設の開放校を拡充するための検討・協議を継続する。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	

【事業の目的】

対象(何を)	小学校体育施設開放の利用者...校区内住民で構成される10名以上の団体 中学校体育施設開放の利用者...市内に在住または勤務する18歳以上(高校生以下は除く)の10名以上で構成される団体
意図(どのような状態にしたいか)	中学校体育館等の拡充を図ることで、中学校体育施設開放の利用者数増加を図る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
中学校体育館等の開放校数	校			15	15	15

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
成果指標	中学校体育施設開放利用者数	延人数	目標値			45,000	45,000	60,000
			実績値			43,753		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 前年度と比較して、利用者数は減少したが、継続して利用者数の拡大を目指す。 (目標達成度)							(達成度) 97.2% 34点
	成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H26	H27	H28	H29
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							

【コストの推移】

指標名	単位	平成 26年度(決算)	平成 27年度(決算)	平成 28年度(決算)	平成 29年度(予算)
トータルコスト	[円]	27,466	27,785	29,116	40,782
(事業費)	[円]	19,347	19,340	18,910	30,576
(職員人件費)	[円]	8,119	8,445	10,206	10,206

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)	中学校体育館等の開放校数及び利用者数の拡大を図り、小学校開放事業での受益者負担の導入を目指す。		
【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)	中学校体育館等の開放校数を拡充することで、施設利用者数の増加を図る。		